

2020年度
宇都宮大学交換留学派遣学生
(オンライン)

留学体験記

編：留学生・国際交流センター事務室

| | |
|-------------------|---|
| 留学先大学名 | 台湾師範大学 |
| 宇大での所属学部・学科等 | 国際学部国際学科 |
| 留学先での所属学部・学科等 | 華語文教學系學士班 |
| 留学時の学年 | 3年次 |
| 留学のきっかけ | 将来台湾に関わる仕事をしたいと考えており、そのために大学生のうちに、台湾で生活するという経験をし、中国語のレベルを引き上げたかったため。 |
| 留學生活全般 | <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、秋学期・春学期ともに現地留学することはできなかった。秋学期は全面オンラインで授業を受けたが、現地では授業の大半が対面で行われており、留学生を受けられるオンラインの授業は数個しかなかった。しかし、大学附属に語学学校の授業については、週3回各3時間受けることができた。そのため、オンライン留学は語学学校での授業がほとんどとなった。語学を学びながら、宇大の授業を受け単位を取得することが出来たのは、オンライン留学ならではだったと思う。</p> <p>春学期も同じ状況が続くことに不安を感じ、コロナ禍での学生生活を見直すため、休学して日本で長期インターンシップへ参加することを決めた。結果的に、春学期の留学は取りやめることとなった。</p> |
| 語学力の伸びについて | オンライン留学前は、HSK4級を取得していたものの、中国語の聞き取りに不安があった。しかし、語学学校での半年間の授業を経て、日常会話程度の簡単な中国語であれば、しっかり聞き取り応答することができるようになった。 |
| 留学したことで学べたこと、得たもの | オンライン留学（現地留学がない環境）でも、十分に語学力は伸ばせるということ。留学はそれなりの時間を費やすものであり、留学の目的についてはしっかりと考えるべきであったこと。留学が中止になることも考慮しつつ、自分の将来について考えることの重要性を感じた。 |
| これから留学される方へのアドバイス | なぜ、何のために留学するのかをしっかりと考えた方が良い。もし留学が中止になった場合、じっくりと考えた目的が次の選択肢を考える際の重要な軸となる。 |

| | |
|-------------------|---|
| 留学先大学名 | 国立台湾師範大学 |
| 宇大での所属学部・学科等 | 国際学部国際学科 |
| 留学先での所属学部・学科等 | 第二外国語中国語学科 |
| 留学時の学年 | 3年次 |
| 留学のきっかけ | 臨地演習で台湾に行き、実際に国立台湾師範大学で中国語を学んだ際に、留学をして中国語を勉強したいと感じたから。また、台湾に関する卒業論文の執筆を考えていたため、留学中に調査も進めたかったから。 |
| 留学生活全般 | オンラインで語学授業と通常授業を履修した。語学授業は先生1人に対し、3人の生徒で少人数であったため、先生が一人ひとりを見てくれた。通常授業は英語で開講され、宇宙の生命に関する内容だった。 |
| 語学力の伸びについて | それまで簡体字で勉強していたため、繁体字での学習が新鮮で面白かった。リスニングとスピーキングが伸びたと感じる。授業の初めはよく聞き取れなかった時があったが、会話できるようになっていった。 |
| 留学したことで学べたこと、得たもの | うまく伝えられなくても、言い換えたり身ぶり手ぶりで伝えられた。失敗を恐れずにどんどん話してみるべきだと学んだ。 |
| これから留学される方へのアドバイス | オンラインの留学しか分からないが、時間をいかに有効に使うかが重要だと思う。分からなければ積極的に質問して、予習復習をしっかりと行えば、限られた時間で多くのことを学べるのではないかと感じる。 |

| | |
|-------------------|---|
| 留学先大学名 | エアランゲン大学 |
| 宇大での所属学部・学科等 | 国際学部国際学科 |
| 留学先での所属学部・学科等 | Japanologie |
| 留学時の学年 | 3年次 |
| 留学のきっかけ | 私は編入学をする前から、交換留学に行くことを希望していました。ホームステイでドイツ人を受け入れた経験や短大でドイツ語を学んでいた経験から、留学先としてドイツを選びました。 |
| 留学生活全般 | 留学は全てオンラインで行いました。学期の始めに留学生に向けて単位や授業、ドイツでの生活に関するミーティングが数回ありました。そして、エアランゲン大学のオンラインシステムを通して、希望する授業を選択し、受講しました。 |
| 語学力の伸びについて | ドイツ語の語学力に関しては、大きくは伸びませんでした。先生や他の学生の表情をよみ取ることや、ネット接続の状況などオンラインで語学を学ぶことの難しさを感じました。しかし、世界中の留学生とドイツ語を学んだことで、ドイツ語だけではなく、英語力も身近に感じ、留学当初と比較すると向上したと感じています。 |
| 留学したことで学べたこと、得たもの | 留学で得たものは、語学力と積極性です。授業は英語とドイツで実施され、自分自身の国についてドイツ語でプレゼンをするなども授業で行いました。様々なプロジェクトに積極的に参加することで、語学力も向上したと思います。 |
| これから留学される方へのアドバイス | 私の留学は手続きも授業も全てオンラインでした。そのため、最も苦労したことがオンラインで一人で手続きすることと時差です。そのため、分からないことや困っていることがある場合は、私は積極的にエアランゲン大学の留学生担当の方々に連絡をしました。履修や授業の時差についても相談したところ、一番時差の少ない時間の授業を受講させてくれたり、問題解決のためのアドバイスを頂いたり、何度も助けて頂きました。積極的に周囲の方々に相談しながら、早めに手続きを始めることをお勧めします。 |

| | |
|-------------------|---|
| 留学先大学名 | 国立台湾政治大学 |
| 宇大での所属学部・学科等 | 国際学部国際学科 |
| 留学先での所属学部・学科等 | |
| 留学時の学年 | 3～4年次 |
| 留学のきっかけ | <p>大学2年生の時に、台湾臨地演習に参加したこと。それをきっかけに、台湾に興味を持ち、もう一度台湾に行きたいと思ったため。語学を学びたいというのはもちろんあったが、台湾の持つ歴史や文化に興味を持ち、それらをより身近に感じてみたいと思った。また、色々な人に会ってみたいというもあり、留学を決意した。</p> |
| 留学生活全般 | <p>基本的にオンライン。14時～17時の3時間の授業を週4日で受けていた。先生と他の国の留学生複数名で授業を行っていた。かなり双方向の授業で、退屈することはほとんどなかった。台湾は時差もほとんどないので、とても受けやすかった。本科の授業を2つ受けたが、それらは英語であった。その生徒と交流することもあり（英語）、自分が想像していたオンライン留学以上に人との関わりがあり、学びが多かった。</p> |
| 語学力の伸びについて | <p>やはり実際に行くことには敵わないと感じた。日常的に中国語を使うという環境には身を置けなかったが、その分授業の中で学び取れるものを全て学び取ろうというモチベーションにつながった。また、日本では中国語で会話する機会はほとんどなかったため、実際に使わなくてはいけない時間が少しでも得られたのは自分の語学能力の向上にとって非常に大きかったと感じる。授業の中で先生や他の留学生とは中国語で交流することができるようになったので、得たものはあったと思う。</p> |
| 留学したことで学べたこと、得たもの | <p>語学力に伸びはあったと感じる。中国語を使うということに抵抗を感じなくなった。また、限られた条件の中で、自分がどれだけこだわって頑張れるのかということを知れた。たった1日3時間しかない状況の中、学べることをできるだけ学び取ろうと頑張った経験は、少しだけ自分への自信につながった。</p> |
| これから留学される方へのアドバイス | <p>オンラインでも自分のモチベーション次第でいろんなことが学べると感じました。限られた時間しかないため、その僅かな時間の中でどれだけ先生に質問ができるか、他の留学生とどれだけ話することができるか、いかに自分の意見を伝えられるかといったことを常に考えていました。それによって、語学だけではないものをオンライン留学では得られると思いました。日本にいるからこそ、その他のことと並行で大変ですが、それでも普通は得られない機会であり、とても貴重な時間であったと私は感じました。頑張ってください。</p> |